

## 会 議 議 事 録

審議会等の名称	平成27年度 第2回 磐田市環境市民会議 議事録
担当部課名	環境水道部 環境課 (内線 3126)
会議の開催日時	平成28年3月17日(木) 午後1時30分～午後3時00分
会議の開催場所	市役所西庁舎3階 302会議室
出席者(職・氏名)	<p>委員15名 (出席者13名) 佐藤 和美、杉浦 聖、川島 あつ江、山下 宏子、高木 浩三 鈴木 昇、溝口 徳、安田 博俊、大塚 由幸、山浦 征夫 永田 清也、守屋 尚密、稲葉 清(敬称略)</p> <p>・(欠席者2名) 村田 慎哉、酒井雄一郎(敬称略)</p> <p>・(事務局5名) 環境水道部長、環境課長、環境保全グループ長 環境保全グループ主査、環境保全グループ主事</p>
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 磐田市環境関連施策(環境指標)評価表について</li> <li>・ 環境保全団体活動事例 「ひょうたん池自然を考えよう会の活動」について</li> <li>・ 第2次環境基本計画の策定について</li> <li>・ 大池について</li> <li>・ 意見交換</li> </ul>
配付資料等の件名	<p>(1)平成27年度 第2回磐田市環境市民会議次第</p> <p>(2)平成27年度 第2回磐田市環境市民会議席次表</p> <p>(3)平成27年度 磐田市環境関連施策(環境指標)評価表【資料1】</p> <p>(4)エコ通信No.8～11</p> <p>(5)平成27年度 アース・キッズ事業</p>
概 要	<p>※会議の発言内容、審議経過等を記載</p> <p>会議(司会:環境課環境保全グループ長)</p> <p>(1)開会(環境課環境保全グループ長)</p> <p>(2)挨拶(佐藤会長)</p> <p>(3)議事(佐藤会長)</p> <p>(4)閉会(環境課環境保全グループ長)</p>

**【説明概要】事務局**

- ・事務局より「平成 27 年度環境関連施策の実施状況」の記載内容について説明した。

**【質疑意見 1】会長**

それでは一つ質問させていただきます。

評価表の「循環型社会の実現 4 の水資源の有効活用の②水使用量の削減」についてですが、数値が出ていなくてバーが記載されており、昨年数値が出ていないが、どういうことなのでしょうか。

**【回答 1】事務局**

評価表の「循環型社会の実現 4 の水資源の有効活用の②の水使用量の削減」について、先ず、水使用量の削減の評価目標は、環境基本計画に掲載されている目標値ではなく、後から、追加した目標数値です。評価等が未記載になっていることは、市全体の地下水の使用量を把握するためには、県条例に基づく地下水の使用量をとりまとめ集計するなどが必要になりますが、そこまでの検証は出来ていないためです。

**会長**

今後使用量の削減量を目標値として上げるならば、きちっと水量を示していただきたい。

**委員**

関連でよろしいですか。私の家にはたとえば雨水を 3700ℓのタンクにためていろいろなものに使うシステムがあります。そういう問題かな？と思いました。簡単にいうと地下水量と言っても今工場はだいぶ減ってきていますし、どんどん工場が来て汲み上げてどうこうというよりも、一般的に考えると、小学校とかたくさん水を使うところがあるかもしれないですけども、雨水を使うという形で、目に見えて水道使用量が減ってくるのかなという感覚で捉えてみました。その方が分かりやすいかなと思っています。

**事務局**

循環型社会の実現 4 の水資源の有効活用の②の水使用量の削減について、先ほどの事務局からの説明について補足いたします。循環型社会の実現 4 の水資源の有効活用の②の水使用量に記載の目標値は、市の事務事業における水の使用量に係るものです。市の事務事業に係る水の使用量については、エコアクション 21 において、進行管理を

しています。この欄の 26 年度の実績が未記載になっていますが、評価結果としては、26 年度の上水道の使用量について、24 年度比 21% の減、地下水については、29.6% の減で、目標の 2 % 減を大きく上回っています。

#### 【質疑意見 2】委員

全て認識しているかどうか分からないですけども、桶ヶ谷沼や貴重種などの保護というところで、ベッコウトンボの個体数が増えた。先程もリストにありましたが、評価が 5 になった。それで、前回 11 月に渡していただいた資料に、前年度の実績と 27 年度の予算的なものがあったわけですけども、確かにその時点で予算の関係で前年度 600 万円から 1,200 万円に増えた。それで確かにすごく増えたようですけど、いろいろな取り組みをされていることで、評価にあたってどの程度の費用が掛かっているのか、実際に 1,200 万円ぐらいかかっているのか。それとずっとこういう形で年々、先程のリストを見ても頭数が増えているわけですけども、今後まだまだこのように増やしていかななくてはならないのか、増やしていくように考えているのかと言いますのは、その前の「市内に生息する希少動植物の種類」が評価が 3 になっていますが、ベッコウトンボは確かに大切なものですけど、その他の希少動植物についてももう少し検討するとか、そういう方向は考えられないのでしょうか。その辺を少しお聞きしたいです。

#### 【回答 2】事務局

予算のことをお答えしますと、平成 27 年度予算については桶ヶ谷沼に隣接するビジターセンターの外壁の改修工事を実施するための予算約 500 万円がついております。したがってその分が 27 年度では増額になっております。桶ヶ谷沼のランニングコストというものは、毎年そんなに変動はございません。したがって 28 年度になりますと例年に戻って約 500 万円が減という形になります。そういった事情で 27 年度だけは約 500 万円ほど増加しております。

それから「ベッコウトンボだけ特に保護するのか」というご質問かと思いますが、ベッコウトンボにつきましては磐田市の一番象徴的な看板と申しますか、市の総合計画におけるベッコウトンボの総数確保というのが、総合計画の成果の一つの指標になっております。28 年度末で 200 頭を達成するという市の総合計画の指標がございまして、ベ

ツッコウトンボだけ特別な存在だということで、現状としては野生絶滅と言いますか、人間の手がある程度入らないとなかなかその生態が維持できない状況でございますので、ベッコウトンボについては生簀等人工的な環境下で育成していく状況にあります。その他の動植物の方につきましても、できるだけその維持に努めていきたいと考えております。

### **委員**

そうしますと、備考のところにありますように頭数が前年に対して倍になったけども、飼育の仕方とかが上手になったとかいったすごい評価と考えてよいのでしょうか。

### **事務局**

なかなか未知の部分もあると思いますが、27年度170頭確保されたと調査確認できましたが、28年度も右肩上がりで順調に伸びていくかどうか？またその点も難しいかと思えます。いろいろ桶ヶ谷沼を考える会、岩井里山の会やNPO法人の方々に頑張ってもらっていて、長年のノウハウが蓄積されて成果に結びついていると考えています。ただ自然のことですので、順調にこれから頭数が増えていくかはなかなか難しいです。

### **【質疑意見3】委員**

「健康の保護及び生活環境の保全3」の「環境保全のための監視及び対策」の中の③化学物質適正管理の目標は「なし」となっていますが、これは「なし」なんですか。私も会社で環境の責任者をやっていますが、確か昨年度、何という物質か忘れてしまいましたが、化学物質に該当させているんですけど、それもないということですか。指定の物質が一度把握した中で「なし」というような記載になっているのでしょうか。特に化学物質は毎年毎年新しいものが入ってきます。その辺をやはり把握してないと。

### **【回答3】事務局**

今回の評価表は、環境基本計画に目標数値があるものと、環境基本計画に目標数値がないものがあります。化学物質等環境関連法令への適合ですが、エコアクション21の審査の中で、たとえばクリーンセンターで使っている化学物質等についての管理状況を審査いただいています。特に今回の審査の中では指摘はなく、適正に処理され

ているということで確認いただいています。

#### **委員**

やはり化学物質もそうですけど、毎年毎年新しいのが入ってきますから、これだけのキャパを審査するという事は、なかなかやはり全て網羅しているとは思いません。ですから市として独自に化学物質を調査された中で記載されたらどうかと思います。

#### **事務局**

この項目について少し矛盾があり、申し訳ないです。化学物質の適正管理というのは、市の事務事業から発生するもの、使用している化学物質の適正管理のことで、民間の事業所は対象になっていません。磐田市役所のエコアクション 21 の取り組みの中での項目であって、備考にも説明がなくて唐突に出ていますが、そういった経緯で載っているものです。磐田市内の民間事業所をすべて含めての化学物質の適正管理という捉え方ではございません。

#### **【質疑意見 4】 委員**

磐田市ではエコアクション 21 とか省エネ化に一生懸命取り組まれている説明があって、そのまま推進していただきたいと思います。この資料の「地球環境保全の 5」の「フロン類の回収・破壊の徹底」の 49 番の中では「空調設備の冷媒などに使用されているフロンガスは、各課の修繕や備品の更新時に、業者により適正に処理されているためフロンの回収はなし」と表現がされていますけど、いわたエコ通信の No.10 フロンについては、フロン排出抑制法簡易点検について書いてあります。以前はフロン回収破壊法と言いまして、回収破壊するがメインだったんですけど、うまく回収がなされないということで今年の 4 月からフロン排出抑制法という形で全面改正しました。これには業務用の冷凍空調機器、この市役所もそうだと思うんですけど、管理者が自ら簡易点検を 3 か月に 1 回以上やるとか、ある一定の機器以上になると専門家による点検を受けなくてはならない。こういった法律が出来たのは、フロンの回収がどうも 3 割程度しか回収されていなくて、7 割位が出ていると、管理者自らが点検して漏れがないようにするためのものです。

そこに書いてありますように、簡易点検として説明会を開催したとあります。是非とも来年から自ら市役所等あるいは幼稚園とか施設が積

極的に点検していただいて、その旨がどうなのか評価をしていただきたいと思います。

#### 【回答4】事務局

ご指摘の通りですが、実はエコアクション 21 の審査の時にも同じような指摘を受けました。今年度フロン排出抑制法について環境課が主体となって、各施設管理者への説明会等を開催しまして、点検の実施をしております。また、フロン漏えい量については一定以上になると国への報告義務があります。事務を進めているところで適正に行っております。

#### 【説明概要】事務局

・事務局より環境保全団体活動事例「ひょうたん池自然を考えよう会」について説明した。

#### 委員

ひょうたんの守屋ですけども、今皆さんにお渡ししました総会の資料の、4、5、6 ページにこれから会として取り組もうとする内容が説明されています。今後5年から10年かけてやはりもっと地域の方たちが一緒になって、自然に散策ができ楽しめるような場所を目標としておりますので、そこに親子で来てメダカを捕ったりしながら、その場所で楽しんでもらうというところがやはり大きいです。そのために池の周りをもう少し幅をとって歩きやすい状態にします。今年、柳の大きな木を3本切り倒しました。池の西側で枯れて倒れそうな状態になっていたものですからその3本の大きな木を伐って、改めて苗木を5本ほど植えて進めていこうと思います。やはり子供たちは魚とか生き物が大好きなものですから、いろいろな形で生き物を見られるようにするというのを含めて、水路の改修をこれから28年度に向かって進めていこうと思っています。

もう一つは、ホタルの話がありましたけども、ホタルそのものはどこの地区でもそうですが、幼虫を育てて個人でそれらを放流するところが非常に多くなってきています。ひょうたん池自然を考えよう会も平成13年ぐらいからずっとそれに取り組んでいる方がいます。平成24年度で幼虫が非常に育って、それは個人で育てていただいて、24年、25年、26年の3年間で非常に状態が良くて、だんだん幼虫が増えてきています。27年度も4,000匹ほど放流して、今年ももう幼虫を

放流してあります。今現在は3,100匹、それが飼育舎の中でやっているとということで、外に飛ばしているわけではないので、飼育舎の中で子供達に入って楽しんでもらう。目の前に蛍がとまる、頭にとまる、そういうような環境で子供たちに喜んでもらっているという状況です。今年は水路を改修して、一回り大きく外回りに造りましたが、そこにも500匹ほどの幼虫がいます。しかし、現実にはその水路は、先程話にも出ましたが、大水が出ると埋まってしまう。26年の10月の18号台風の際は、車も入れませんでした。もう少し西側に四阿がありますけども、四阿の座るところまで水につかり、安久路川と並行した形でほぼ一杯になった状態で水が流れていました。その南の方に淡水防除池があります。そこも18号の時には満水でした。そういうこともありまして、ここはいつも水に浸かってしまう場所です。満潮の時には水が逆流してきます。そういう場所ですので、ホタルを育てるのが非常に難しい状況にはあります。現在は源氏ホタルを個人で育てて皆さんに見てもらっているんですけども、もともと田圃が沢山ある場所は平家ホタルです。今平家ホタルが絶滅している状態になっていて、どこにいても平家は見られないですけど、その平家ホタルであればある程度自然発生でいける可能性もあるのではないかと思います。その取り組みはこれから会の中でどのような方向でやるか考えていく必要があると思います。そうしますと7月に入ったら「ホタルがよく見られるようになったよ。」というような状況になる。見られるようになれば非常に良い環境になってくると思います。そこはまだこれからの取組になりますので、会の中で平家ホタルを育てていくようにするか、これから決めていく必要があるかと思います。そういった環境で、ここへ誰が来てもゆったりして楽しめるような環境作りを進めるというのが目的です。

#### **【説明概要】事務局**

- ・事務局より、第2次環境基本計画の策定について説明した。
- ・続いて、大池について説明した。

#### **【質疑意見5】委員**

大池の会について10月に、静岡産業大学の美化活動という話がありました。磐田市でも清掃しているのはご存知ですか。美化活動を行っているのは、道路河川課のまち美化パートナー連絡協議会というところ

ころで行っている。その中には一緒に呼びかけて静岡産業大学、第一中学校、地元の小学生、ライオンズクラブの人たちが来てくれています。いつも思いますけど、やはり磐田市の環境課でこういうことやります。道路河川課がやっています。ということではなくて、一本化することを考えていただきたい。まち美化の反省会で話をするとき、参加される方が大勢いるけれども、やはりすごく暑いときにやります。子どもたちも大勢来ていただいています。お茶など飲み物がありません。この前のまち美化の会議で何が決まったかと言うと、協賛する事業所が何かしら記念品を出してくださいということでした。それもそうかもしれないけども磐田市でやっているのであれば、やはり予算付けが必要だと思います。去年は3回やりました。これは継続していかないと、さっきの遊歩道などもみんなで子供達もきれいにする。道路河川課も環境課も一緒になって、やはり必要なものは予算付けしていただきたいと思います。

#### 委員

大池をどういうふうに磐田市として考えているのか。これが決まらない限り難しいのでは。

#### 【質疑意見6】委員

それもそうですけども、大池を維持する時に綺麗になっていかない。それは行政とか、もっと大きな組織のなかでやっていかない限りは綺麗になっていかないと思います。この前まち美化パートナーの看板を付けていただきました。大池を今後どうしていきたいかという話がありました。市民が集まる憩いの場としたいのなら、少しの人数ではできない。それとやはり大池では半分ぐらいそのまま草を刈らない、水鳥などいろいろなものが来るじゃないですか。それは、野生の場所を残しておかない限り来ないですよ。だからある程度のところまでやるけどもうやらない。そうすると、この維持が出来ない。今後市の方、市だけじゃないかもしれないが考えていただければと思う。

#### 委員

私、大池の会で事務局をやっています。皆さんがおっしゃる通りで、毎年10月にまち美化パートナーに非常にたくさん協力いただいています。今少しずつ具体的に動き出しています。それで大池の会としては、どういうところにしたいのか？ 理想に近いかもしれないが、静



岡産業大学を含めて磐田駅から非常に近い、全体を面として捉えて、静岡産業大学に非常に優秀な先生もいらっしゃいますし、施設もいろいろあるものですから、私たちは最終的に老若男女が毎日の生活の中で、「大池に行きたいよ」「大池は休まるよ」と、健康創出の場に、そういうことを将来的に私たちはしたいと取り組んでいます。水がきれいであって自然の生き物が沢山いるというところで、私も、掃除などいろいろ実施しているのですが、非常に広いものですからなかなか進まないです。非常に珍しい鳥がいて、私も今年の1月一人で観察していました。たまたま西側の扇橋の近くで観察していたら、外国人の方が双眼鏡を持っていました。お話をしたら静岡産業大学に工事で見えているカナダ人の女性でした。双眼鏡を持って「角が角が」と叫んでいました。その時は戸惑ってしまいましたが、「タゲリ」という国内でも非常に珍しいハトぐらいの大きさの野鳥でした。冠がありますが、それが角度によって丁度角のように見えます。それを見てカナダ人の女性は「角角」と叫んでいました。これは私の推測ですけど、カナダでも見たこともないような、非常に珍しい鳥です。実際に目の前に見えるということはすごいことです。その他にセイタカシギ、バードウォッチャーでは憧れの的になっています。セイタカシギは非常にきれいな鳥で、私は写真に収めています。大池についてとにかくいい方向に持っていきたい。私たちが言っていることを皆さんが少しずつ分かって下さっていると感じています。私たちももっともっとやっついていかなくてはならない。先程ひょうたん池のお話がありましたけども、素晴らしい活動をしている。非常に私たちが目標とすることがあります。是非立派なところを見習って、少しずつでも前進させたいと考えています。

#### **【質疑意見7】委員**

大池には不法投棄はないですか？

#### **委員**

以前はあり、今も少しはあります。看板を必要なところに移させてもらったり、看板を設置しても池の中に落とすものですから、長靴を履いて池の中の不法投棄物を拾ったりということはいつもやっています。

### 委員

他市ではいろんな人が来て全部かい掘りして綺麗にしている。マスクミがわざわざ取り上げて広報している。

### 委員

今年、池の様子を見るということで、この2月の上旬に池の水抜きをやりました。今年も秋に予定しています。非常に広大な面積ですから、自分たちだけでは無理だろうということで、手助け頂ければ非常にありがたいなということで進めています。

### 委員

磐田市には桶ヶ谷沼、ひょうたん池それと大池、大きな池があると思います。桶ヶ谷沼は前からトンボで有名になって、一番先に成功しています。ひょうたん池も成功しています。大池は遅れていると思います。自分が子供のころは、大池は行けるような場所じゃなかったです。今は周りに遊歩道が出来たり、多少なりとも行けるようになったりしました。しかし、他のところと比べると、ちょっと遅れているかなと思います。

### 委員

いろいろな野鳥が来ているわけですね。以前はツバメが何千匹も来て、他に移動していました。7月には空も真っ黒になるほど舞った時がありました。

### 委員

そういう環境がありました。餌もあったし、育てる環境が揃っていたよということですね。それが最近突然来なくなってしまったという話も聞きました。

### 委員

30年ぐらい前、大池に土手がないころは、草が茂りごみの不法投棄がすごかった。南側のアシもすごかったです。とにかくアシが沢山ある。ねぐらが沢山あった。だから夕方行くとツバメとスズメ、もう真黒くなるくらいの夕方の空を何回も見えています。

### 委員

立て看板は絶対必要ですね。「不法投棄したら罰せられますよ。」などの看板が必要だと思います。行政と地域が手を組んで自然を愛する人たちとも一緒に、何か方法を考えないと決まっていけないような気

がします。

**委員**

今少しずつ動き出しました。

**会長**

保存と開発、非常に難しい問題ですけれどしっかりと考えていかななくてはいけない。

**【質疑意見 8】 委員**

全然関係ない話ですが、私はこの頃ウォーキングをしますが、ものすごく空き家が気になって仕方がない。雑草が生えていると、そのことに関しては環境の方で指導するとのことですが、建物そのものについては建築関係だと聞いています。どちらにしてもあのままでは危ない。固定資産税のことも言われていますが、このような空き家が、私が歩いている所にあります。

**会長**

その点市の方はいかがですか。

**【回答 8】 事務局**

昨年、空き家の特別措置法が全面施行されまして、市でも建築住宅課が担当で、まず全市の老朽空き家の把握、状態の把握、件数の把握をしまして、「特定空家」というところの指定を検討していきます。そこからまずいろいろな対策が始まってくると思います。先程言われた固定資産税についても、家が建っていれば固定資産税が安くすむといったような税制もありますので、その辺も特別措置法によって改正されてきます。そういう状況で、改善に向けて現在取り組んでいることを報告したいと思います。それから環境課の役割として、空き家と敷地内に発生する雑草については、建築住宅課と連携して改善についても取り組んでいるところです。

**会長**

今表の中にありますように、草刈りですとかは実際に行われているわけですね。

**事務局**

雑草の管理・不備の苦情相談は、土地の所有者に対して改善を指導します。約 8 割がそれによって改善します。

### 委員

確実に空き家が増えていくことだけは事実です。減っていくという感覚はないですね。ですから今言うように連携で、「この空き家については〇〇で連絡を取りたい。」とか意思表示をするなど何かやらないといけない。草を刈ってあれば大丈夫なのか、美観も損ねるし、火災予防も必要です。防犯上も悪いし、そういうことを含めて市を挙げて取り組まないといけない。是非要望をしておきたいと思います。

### 委員

人生の一番の目的は「和」と「楽」だと思っています。先程大池の話がありましたが、自然環境とかそういったところも基本的にはそこだと思います。ですから色々なことがありますが、一つは、大池やひょうたん池の数値を見ましても磐田原台地の特徴として、亜硝酸性窒素が高い。でもどうすることも出来ない。大池もやっぱりそうでしょう。でも全体の中の「和」として満足するような楽しいものにしたい。たとえば、行政の中で道路河川課と環境課をどうやってつなげて、どうやって楽しめるように、その時一杯のお茶でも出せるように、「心」というものが一番重要だと感じます。ですからできるだけ目標は、「和」と「楽」を築くような基本的な理念のビシッとしたところに重心を置いていかれると、こういう会もだんだん繋がっていくと感じました。

### 会長

意見も出尽くしましたので、それではこれで、平成 27 年度第 2 回磐田市環境市民会議を閉会いたします。